

基本方針6 市民参加型の環境活動(地域振興計画を生かす)

基本施策1 地域振興計画の中の環境行動

1 現状と課題

第5次垂水市総合計画では目指すまちの将来像を「九つの彩り豊かに 健やかな人を育むまち 垂水」と設定しました。この『九つ』は本市の9つの地区のことで、それぞれの地区ごとに地域振興計画を策定しています。その中で環境に関する事項も活発に議論されており、市民の環境に関する意識の高さが表れています。

地域振興計画は、各地区の特性を生かした環境に係る行動計画も多くみられ、また、先述した、空き家の利用、錦江湾クリーンアップ作戦への参加、大野 ESD 自然学校活用の推進、教育旅行の受入れといった事項は各地区で計画されています。

せっかく、地域の人たちが時間を割いて議論し、策定した計画が無駄にならないよう、本計画が地域振興計画を補完する意味で、市・市民・事業者が協働で地域振興計画を実行していくことが大切です。



各地区の地域振興計画

## 【各地域振興計画の中の環境に係る行動①】

聞き取り日：R2.10.30～11.25

地区	環境に係る行動計画(抜粋)	行動状況
大野	現在の自然学校の地域との連携をさらに深め、今後も運営を継続する。	自然学校の運営は継続中。
	高峠公園を整備・管理する。	菜の花を植え、菜種を採取した。
	計画的な集落内の環境整備、奉仕活動を行う。	奉仕作業を実施している。
	空き家を活用する。	空き家を活用している。
	バイオマス発電所稼働に伴う企業への情報提供依頼を行う。	説明会を実施した。
	【その他】	企業に相談して悪臭対策を実施した。
水之上	浜平大都線・内之野線をフラワーロードにする。	菜の花ロード、彼岸花ロード、アジサイロード等 9年間取り組んでいる。
	本城川、井川、嫁女川の水質を改善する。(堤防の整備、堤防・河川の草木を除去する。)	堤防の草払いを実施している。
	年1回の草払いボランティアで堤防をきれいに保ちます。	県水辺サポート推進事業として補助金を活用して実施している。
	【その他】	毎月第1日曜日に、早朝草払いボランティア活動を実施し、毎回20～25名が参加して、道路沿いを清掃している。
牛根	浮津港の公園の草払いを定期的実施する。	毎月1回実施している。その他、1年に3～4回、浮津集落で清掃活動を行っている。
	鉄道跡地や中学校の草払いを実施する。	頻繁に実施している。
	鉄道跡地を有効活用する。	アジサイを植え、管理している。
新城	空き家の調査をする。(空き家を調査しデータベース化する。)	新城地区に移住希望者があり、紹介した。(現在、居住している。)
	緑化活動、清掃活動	実施している。
	里山を整備する。	ボランティア活動で整備を進めている。
	住環境の整備をする。(ごみ分別とリサイクルを推進する。)	ごみ出し日の日は、分別を徹底している。
	「おたけどん」を大事にする。(おたけどん一帯に植栽をする。)	「おたけどん」から新城小学校までの区間に植栽をしている。
【その他】	河川堤防にアジサイを植栽している。	
松ヶ崎	魅力あるまちにする。	宇喜多秀家公潜居跡などの史跡への道を手入れしている。



水之上地区 菜の花ロード

写真 垂水市

【各地域振興計画の中の環境に係る行動②】

聞き取り日：R2.10.30～11.25

地区	環境に係る行動計画(抜粋)	行動状況
柘原	花植えに取り組む。 (計画的に植栽活動をする。) (鉄道跡の桜を管理し、花見の名所とする。)	花苗植えを実施している。 定期的な除草を実施している。 鉄道後の桜の木の下の草払いを実施している。
	自宅周辺の集落道の清掃を行う。	令和2年7月に大雨による土砂が集落内道路に流出した際、多くの人に参加して、土砂の除去作業を行った。
	農地周辺や港をきれいにする。	浜そうじを実施している。 農道整備作業を実施した。
	【その他】	台風により、海岸に流木、プラごみ等が大量に漂着した時には、多くの人自主的にごみ拾いをしていた。また、「市道垂水南1号線」の空き缶、ごみ拾いをを行っている人も見受けられる。
境	空き地、公園をきれいにする。	実施している。
	境川をきれいにする。	土木課が堆積土砂を除去した。
	海岸をきれいにする。	定期的にごみ拾いを行っており、魚介類が数が増えたことを実感している。
	【その他】	各振興会に花苗、プランターを配布し、花のある地域作りを行う。
協和	草取りや灰取りを行う。	草取りは、毎年夏に実施している。 灰取りは、各家庭で逐次実施している。
	中俣公園、海潟さくら公園を魅力的な公園にする。	一年に数回、老人クラブが中心となって、草払いを実施している。 公園は、グランドゴルフ同好会が利用している。
	協和中学校跡地を有効活用する。	ソフトボール少年団、グランドゴルフ同好会が利用している。
	海潟温泉を活用する。	協和地区観光マップを作成中。
垂水	公園の環境整備	一年に2回実施している。 各振興会で集落内の公園の清掃活動を実施している。
	自然水を整備する。	現在計画。



地域振興計画策定の様子

写真 垂水市

## 2 施策の基本的方向

地域振興計画の環境行動の実現を目指します。

### ◆指標及び数値目標

地区	実現を目指す環境行動
大野	現在の自然学校の地域との連携をさらに深め、今後も運営を継続する。
水之上	フラワーロードを継続・拡充する。
牛根	学校、公園、鉄道跡地の草払いを実施する。
新城	「おたけどんの郷」から新城小学校までの区間の植栽を継続する。
松ヶ崎	道の駅や公民館周辺を定期的に清掃する。
柘原	錦江湾クリーンアップ作戦、浜そうじへの参加を推進する。
境	砂浜に魚介類が生息できるよう、海岸をきれいにする。
協和	温泉マップ等を作成して海潟温泉をアピールする。
垂水	殿様水・三森の水など自然水を整備し、活用する。

## 3 主体別の取組

### (1) 市の取組

- 地域振興計画策定会議に市職員も参加します。
- 地域振興計画の環境行動が実現できるよう支援します。

### (2) 市民の取組

- 今後も地域振興計画策定会議に積極的に参加します。
- 地域振興計画の環境行動が実現できるよう努めます。
- 他地区の地域振興計画のとの交流が実現できるよう努めます。

### (3) 事業者の取組

- 地域振興計画策定会議に事業者の立場から意見・提案します。
- 地域振興計画の環境行動が実現できるよう支援します。



鹿児島大学演習林の散策  
(大野 ESD 自然学校)



おたけどんの郷植栽の様子

地域振興計画策定の様子

写真 垂水市



### 錦江湾クリーンアップ作戦

「錦江湾クリーンアップ作戦」は、錦江湾岸地域の環境保全を図るため、広く県民に参加を呼びかけながら、湾岸地域が一体となって湾岸清掃に取り組む活動で、毎年夏と秋の2回実施しています。

秋の部は、「国際海岸クリーンアップキャンペーン」協賛事業として、ごみの実態調査も併せて実施しています。

夏の部（H30は天候悪化により中止。）

年	H27	H28	H29	H30	R1
人数	2,550人	2,429人	2,409人	—	2,228人
実施日	7月12日	7月24日	7月16日	—	7月7日
収集したごみの量	18,000kg	13,900kg	10,800kg	—	13,900kg
場所	市内全域	市内全域	市内全域	—	市内全域

秋の部（H29は天候悪化により中止。R1は実施せず。）

年	H27	H28	H29	H30	R1
人数	58人	40人	—	29人	—
実施日	11月7日	10月29日	—	11月17日	—
収集したごみの量	30kg	20kg	—	30kg	—
場所	二川海岸	二川海岸	—	二川海岸	—

### ◆国際海岸クリーンアップキャンペーン

平成2（1990）年から日本でも始まった地球市民の手による海岸漂着散乱ごみの回収調査活動。得られた結果は、発生原因を客観的に考え、ごみを元から絶つための改善に向けた提言や行動に生かされます。

平成30（2018）年の活動では、北海道から沖縄まで433会場に延べ27,634人が参加し、213kmの海岸、河岸、湖岸、水中および内陸から78トンのごみを回収しました。



錦江湾クリーンアップ作戦の様子

写真 垂水市